

# ぐるめ散歩

.....韓国料理.....

## タルトツキ

K-POPの人気グループのポスターやグッズが並ぶ店内で、韓国の代表的な料理を提供、韓国ムードを舌と目で味わえる。

店のスタッフはオーナーの井上水彩さんをはじめ、全員が日本人。韓流ドラマをきっかけに新大久保の韓国料理店や物産店へ通ううちにK-POPにもはまった。そうした中で韓国料理店を開く夢を持ち、K-POP好きのママ友を誘い昨年10月に店をオープン、韓国語で月とウサギを意味する「タルトツキ」と名付けた。



井上さん(左)とスタッフの小高さん

約30種のメニューの多くが定番の韓国料理だが、日本人の舌に合わせて辛さなどは控えめにしている。店のイチオシは揚げた鶏肉に甘辛く味を付けたヤンニョムチキンでボリュームたっぷり。スンドゥブ、チヂミ、野菜キンパに加え、石焼ビビンバ、サムギョプサル、プルコギなど韓国料理の人気メニューがそろっている。6種類あるランチも好評だ。



タルトツキ

和泉多摩川駅  
小田急線  
交番

### ■おすすめMENU■

- ①野菜キンパ¥880
  - ②チヂミ¥880
  - ③ヤンニョムチキン¥980
  - ④スンドゥブ¥980
- ／石焼ビビンバ¥980  
／サムギョプサル¥1,280  
／プルコギ¥1,180  
／冷麺¥880  
／ナムル4種盛り¥680  
／オイキムチ¥480  
／チョレギサラダ¥680  
／チャプチェ¥880 (税込)

## 韓国の代表的な料理を手軽に日本人の舌に合わせて食べやすく



また、本場のマッコリやチャミスルなどの韓国の酒も置いている。

キムチやチキンのタレ、ドレッシングも日本人向けに調整を工夫した自家製

だ。香辛料や調味料などは新大久保の韓国料理の素材を扱う店で仕入れているという。

店内にはテーブル6卓があり、20人が利用でき、グループや家族連れも多い。また、K-POPファンも遠方から訪れるという。

井上さんは「韓国の様々な魅力を都心まで行かなくても味わえます」と話している。



## 二十歳を祝う会に430人 夢に向かって新たな誓い

狛江市二十歳を祝う会が1月13日(日)にエコルマホールで催され、今年の対象者757人のうち430人が参加した。

式典では松原俊雄市長が「自立に向け、社会の一員としてさまざまな責任が伴うことを心に刻み、これから出会う経験と挑戦が成長につながることを祈ります」とはなむけの言葉を贈った。これに答え実行委員の海野創太さんとファム・ホアンフンギーさんが「世界では戦争や闘争が続いていますが、私たちの未来は暗いばかりではなく、コロナ禍が明け、かつての活気が戻ってきています。私たちは良い市民として目標や夢に向かって力強く努力していくことを誓います」と誓いの言葉を述べた。ファムさんはベトナム出身で7年前に来日し狛江第三中学校を卒業し現在大学に通っている。

式典に続いて小・中学校時代の教師のメッセージ映写やプレゼント抽選会などのほか、狛江高等学校ダンス部が演技を披露した。

## どんど焼きや消防団出初式 初春の行事楽しむ家族連れ

こまえ初春まつりが1月12日(日)に多摩川緑地公園グラウンドで催された。

狛江市消防団出初式では消防団の消防操法演技、レインボー放水、木遣りやはしご乗りなどが行われ、見学の市民たちは防災への思いを新たにしていた。

グラウンド下流では狛江市ボーイスカウト連絡協議会による小正月行事どんど焼きが行われ、高さ約

8mの竹やかやで組んだ小屋が赤い炎と煙に包まれると、取り囲んだ人の輪から喚声が上がった。また、受付には正月飾りを持った人の列ができていた。



どんど焼き

キッチンカーカーニバルやたこ揚げプレゼントが行われ、家族連れなどでにぎわった。



レインボー放水

## 昔ながらの餅つき楽しむ

## 民家園で外国人も参加

餅つき体験が1月12日(日)むいから民家園で催された。

みんなのむいから民家園事業実行委員会と狛江市国際交流協会が共催したもの。来園者たちは、かまどで蒸した餅米を臼ときねでつく昔ながらの餅つきを体験した。会場ではあんこ、きなこ、ほうれん草などをまぶしたつきたての餅が来園者に配られ、家族連れが舌鼓を打っていた。参加した外国人たちは、初めて見る餅つきに興味深そうに眺めたり、手ほどきを受けてきねを振り上げていた。



外国人も餅つき体験

## 多摩川でロードレース 汗にじませ健脚競う

第55回狛江多摩川ロードレー

ス大会(狛江市、狛江市教育委員会主催)が1月19日(日)に多摩川堤防上の五本松付近を発着点として開かれ、ランナーたちは汗をにじませながら力走していた。

レースは小学生から高齢者までのランナーが堤防上の1~10kmのコースに分かれて健脚を競い、577人が完走した。駒澤大学陸上競技部の選手3人がゲスト参加したほか、きんたの会がにぎやかな太鼓の演奏でランナーを力づけた。沿道には応援の人も多く、ランナーに盛んに声援を送ったり、写真を撮ったりしていた。一般男子Bの部(40歳以上)で1位になった塩田将剛さんは「寒さも弱く風もないので走りやすかった。昨年より1分以上タイムが短縮できうれしい」と喜んでいました。



小学生がスタートダッシュ

## 優れた環境保全活動を表彰 一般部門は標準服リユース

狛江市環境表彰制度の表彰式が1月20日(日)市役所で行われ、松原市長から受賞者に表彰状が手渡された。

優れた環境保全活動を行っている人や団体を表彰するもので、11回目の今年度の受賞者は次の通り。

◆キッズ部門(小学生以下) = 市長賞 - 「木下の保育園元和泉SDGsへの取り組み」(木下の保育園元和泉)、優秀賞 - 「えのきエコ大作戦！」(緑野小学校えのき学級) ◆一般部門 = 市長賞 - 「市内中学校標準服(制服)のリユース事業」(狛江市立学校PTA連合会)、(株)つくば商会)。



標準服リユース事業の受賞者

## 市役所ロビーに流れる名曲

市役所ロビーコンサートが1月17日(日)に催された。

この日は、フルートの亀田奈美子さん、オーボエの篠原由桂さん、ファゴットの江黒未希さんの木管三重奏「アンサンブルマロン」が出演。「80日間世界一周」「トルコ行進曲」「上を向いて歩こう」など国内外のなじみ深い8曲を演奏したほか、楽器の特徴や歴史などを紹介。市役所を訪れた人たちは足を止めてやさしい音色に耳を傾けていた。

ロビーコンサートは様々なジャンルの生演奏を多くの人に楽しんでもらおうと、音楽の街-狛江 エコルマ企画委員会が企画し年2回程度開催、今回で39回を数える。昼下がりに音楽を聴いて、午後の活力になるなどとして好評だ。



演奏するアンサンブルマロン

## つなげよう 音楽の架け橋

## 狛江からプロ野球選手誕生-田中陽翔さん

狛江市出身のプロ野球選手が新たに誕生した。

群馬県の高崎健康福祉大学高崎高等学校3年の田中陽翔さんが、東京ヤクルトスワローズから4位指名を受け、11月に入団が決まった。7年前の横浜ベイスターズの勝又温史さん(24)に続くもので、12月12日(日)には市役所を訪れて松原俊雄市長に入団を報告した。

田中選手は平成18年6月25日生まれ。みずほ幼稚園、狛江第六小学校、狛江第二中学校卒業。183cm、88kg。右投げ左打ちの遊撃手で背番号は54。父の充さんは千葉ロッテマリーンズ、ヤクルトなどで投手として活躍した。田中選手は5歳から野球を始め、小学生はリトルリーグ、中学生はリトルシニアでプレー、健大高崎3年の時、春の甲子園で優勝したが、夏の甲子園は2回戦で敗退した。「まずしっかりと体を作り、4年目にスタメンに入れるようがんばります」と抱負を述べた。



田中選手